

国家戦略特区の今後の運営

平成30年10月10日

八田 達夫

原 英史

1 国家戦略特区の「リセット」

- ◇獣医学部関連でつくられた負のイメージを払拭し、これに起因した改革停滞から脱却し、岩盤規制改革と地方創生のエンジンとしてリセット（再起動）すべき。
- ◇このため、大臣自らのリーダーシップで、以下を月内早期に実施すべき。
 - 1) 「岩盤規制改革の重点課題」の選定（年内に結論を出し次期通常国会で法改正等）
 - 2) 関係首長や事業者からの信頼回復の取組
 - 3) 事務局体制の刷新強化

2 「スーパーシティ」構想の検討

- ◇上記「重点課題」のひとつとして、第四次産業革命を体現する最先端都市の先行実現＝「スーパーシティ」構想を検討すべき。
- ◇大臣の私的懇談会（特区の民間議員・委員を中心に、少人数で構成）を設け、年内に構想を具体化すべき。

3 第四次指定について

- ◇第四次指定については、自治体の提案内容の重要度を精査し、規制改革を実現したうえで、早期指定できるよう準備を加速すべき。